

					
特に好調 ( $30 \leq DI$ )	好 調 ( $15 \leq DI < 30$ )	まあまあ ( $0 \leq DI < 15$ )	やや不振 ( $\blacktriangle 15 \geq DI > 0$ )	不 振 ( $\blacktriangle 30 \geq DI > \blacktriangle 15$ )	きわめて不振 ( $DI > \blacktriangle 30$ )

部 会	10～12月 (実績)	1～3月 (見通し)	概 況
寝 装 リ ビ ング			先が全く見えない状況が続いている。日本全体に需要を起こさせるような早急対策が必要とのコメントあり。経済状況の不透明性により、繊維業者の弱体化、生きる道も浮雲をつかむような感です。発注も前年比 30%程に落ち込み、見通しが立たないとのコメントあり。
織 維 フ ァ ッ シ ョ ン			消費低迷が依然として続いており、ますますデフレ感が強まっているのが共通認識のようである。そのため、売上減となり、利益減にも繋がっている。特殊繊維、複合混紡も増加し益々小ロット、短サイクル、特殊品になっているとのコメントあり。
工 業			一部では上向き傾向であるが収益では厳しい部分もある。電池産業はそこそこ稼働中とのコメントあり。一方で、円高・デフレ傾向により収益悪化の様子である。在庫量は徐々にではあるが減少傾向にある。
建 設			引続き取引条件の悪化、請負単価の低下、需要の停滞が問題視されている。建築全体、特に新築が悪い。採算が取れるものだけ受注しているため売上げ減。新分野を開拓する等の策が必要とのこと。
運 輸 倉 庫			世界的な不況に伴い、運送事業者の大半が売上げを大幅に減少させるなど、厳しい経営環境に陥っている。現状の売上げで事業の継続を考えていかなければならず、先も読めない状況なので取引先に長期の計画を尋ねている事業所もある。物量の減少に伴う、運賃の低下、燃料油の高騰の問題も大きい。
金 融 理 財			近畿圏内ではマンション、賃貸は引き続き減少傾向にあるが一戸建ての持ち直しの動きが見られている。ただ、泉州地域では戸建住宅の売行きが不振で、その影響で登記・測量の件数も減少傾向にある。「仕事を待っているだけでは目の前は開かない。前に出る勇気が必要」とのコメントあり。
一 般 商 業			客単価の下落、販促費の増加、商品在庫の過剰、価格競争が問題視され、一刻も早い消費意欲の好転が望まれている。衣料品については引続き不振のようだが、家電は、エコポイント制度導入の効果から底堅い動きとなっている。消費不振にともない、店舗の撤退も見受けられる。
サ ー ビ ス 業			外食産業については、新規参入者の増加や内食化の傾向もあるため売上減となっている。総じて販売単価の下落と客数減少が目立っている。価格競争で引下げが進行するという懸念と販売チャネルの拡大が必要となってくる模様。